

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
 【**単独** 連携事業】

市町名	足利市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	足利秋まつり事業	総事業費	0	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	24,000,000
		うち市町支出額	0	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	12,000,000
		うち県交付金	0	1,000,000	500,000	0	0	1,500,000
2	着物によるまち歩き推進事業	総事業費	383,012	360,000	360,000	180,000	180,000	1,463,012
		うち市町支出額	360,000	360,000	360,000	180,000	180,000	1,440,000
		うち県交付金	180,000	180,000	180,000	0	0	540,000
3	足利灯り物語創出事業	総事業費	5,115,534	4,650,000	4,650,000	4,650,000	4,650,000	23,715,534
		うち市町支出額	4,650,000	4,650,000	4,650,000	4,650,000	4,650,000	23,250,000
		うち県交付金	1,500,000	1,500,000	0	0	0	3,000,000
4	あしかが美食まつり	総事業費	1,358,586	1,550,000	1,550,000	1,150,000	1,150,000	6,758,586
		うち市町支出額	800,000	800,000	800,000	400,000	400,000	3,200,000
		うち県交付金	400,000	400,000	400,000	0	0	1,200,000
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	6,857,132	12,560,000	12,560,000	11,980,000	11,980,000	55,937,132
		うち市町支出額	5,810,000	8,810,000	8,810,000	8,230,000	8,230,000	39,890,000
		うち県交付金	2,080,000	3,080,000	1,080,000	0	0	6,240,000

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	足利秋まつり事業
事業主体の名称	足利秋まつり実行委員会
代表者の名称	会長 相馬 稔
事業主体の所在	〒326-8502 足利市通三丁目2757
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:秋の行楽シーズンに、郊外観光施設と中心市街地への観光誘客と滞留時間延長を図るため、事業を展開する。 ・設立年月日:平成21年10月13日 ・構成員等:足利市、足利商工会議所、足利市観光協会、ほか
当該事業に係る地域の現状と課題	足利秋まつりでは、これまで陶器・クラフトアートまつりや足利学校さままつりなど複数のイベントを約1か月間開催し、歴史遺産や食など足利市の魅力を市内外に発信していた。しかし、コロナ禍において集客するイベントの開催が困難になっており、イベント出展が減少している市内業者に影響を与えている。そこで、イベント形式ではない方法で市内業者を支援し、さらに対象を同様の文化が根付いている近隣県とすることで、互いの観光資源について、連携して磨き上げを図る。
事業目的	秋の行楽シーズンに足利市の歴史遺産や食をはじめとする地域資源を対外的にPRしていく。コロナ禍において、近隣県を中心とした地域外から人を呼び込むことで互いの地域資源の磨き上げを行い、今後の観光交流人口の増加につなげる。また、市内飲食店を回遊するスタンプラリーを実施することでコロナ禍において影響を受けている市内業者の支援につなげ、地域経済活性化を促す。
事業概要	<p>○令和3(2021)年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陶器・クラフトアートまつり 日程:令和3(2021)年11月21日(土)22日(日) 会場:栗田美術館 【内容】広大な敷地において、「陶器」「食」「クラフト」など様々な人が楽しめるイベントとして開催。近隣県から事業者を集め、互いの資源の磨き上げを行う。また、足利で生産されたそば粉を使った新そばの販売を行い、市内業者の支援をする。 ・(仮)市内業者応援スタンプラリー 日程:令和3(2021)年11月1日～11月30日 会場:市内飲食店 【内容】コロナ禍において影響を受けている市内飲食店を支援するため、スタンプラリーを実施。市内飲食店を周遊すると1スタンプが押印され、必要数スタンプを集めると、足利市の特産品を進呈する。 ※新型コロナウイルス感染拡大により事業実施困難であることから、中止が決定。 <p>○令和4(2022)年度 前年度事業を継続</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(R7年度目標値)</p> <p>【KPI】R2:300万人 → R7:550万人</p> <p>【KPI達成状況】H28:411万人、H29:475万人、H30:507万人、R1:486万人、R2:300万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	3年度	4年度	5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
	事業内容	①複数回魅力を発信するイベントを開催	①複数回魅力を発信するイベントを開催	①複数回魅力を発信するイベントを開催	
事業費	0	6,000,000	6,000,000	12,000,000	6,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	0	3,000,000	3,000,000	6,000,000	3,000,000
うち県交付金	0	1,000,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	3,000,000	3,000,000	6,000,000	3,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課
担当者名	武井 実里
電話	0284-20-2165
FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	足利秋まつり事業	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	0	
足利商工会議所支出金	0	
計	0	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
備品購入費	0	0	0	0	イス、テーブルなど
印刷製本費	0	0	0	0	チラシ、ポスター、スタンプラリー台紙など
使用料及び賃借料	0	0	0	0	会場借り上げ料、備品レンタル(テント)など
委託料	0	0	0	0	警備員
消耗品費	0	0	0	0	マスク、消毒液、フェイスシールドなど
			0		
				0	
				0	
				0	
				0	
計	0	0	0	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

確定版

市町名	足利市
事業名	着物によるまち歩き推進事業
事業主体の名称	一般社団法人足利市観光協会
代表者の名称	代表理事 早川慶治郎
事業主体の所在	〒326-0053 足利市伊勢町3丁目6-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 足利市内における観光事業の振興を図り、産業・文化の発展に寄与することを目的とする。 ・設立年月日: 平成26年10月1日 ・構成員等: 観光振興関係団体
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の近代化産業である織物産業の原点ともいえる足利銘仙は、大正から昭和にかけて全国的に普及した足利を代表する歴史資源であり、現存する足利銘仙の着物や生地を活用することにより、足利の誇る伝統文化を未来に向けて継承していく方策を検討する必要がある。 ・現在は、足利まちなか遊学館において着物着付体験の実施や展示をしている。観光客に足利銘仙をPRすることで、足利市の観光資源である足利銘仙を知ってもらい、現存する足利銘仙を着付体験を通して活かしていく。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・着物着付体験の環境を整備していくことで、さらに体験者を増加させ、足利の街並みの魅力を向上させる。 ・館内に足利銘仙の着物や関連の資料を展示し、観光客に足利銘仙の魅力や特色を伝えていくことで、「足利銘仙ファン」の獲得を目指す。「足利銘仙ファン」の方々がリピーターとして本市を訪れていただくとともに、足利銘仙の魅力・特色について発信していただくことで、他の銘仙産地(埼玉県・秩父銘仙、群馬県・伊勢崎銘仙)とは異なる「足利銘仙の楽しみ方」を広く知っていただくことにつなげる。
事業概要	<p>【令和3(2021)年度】</p> <p>①着物着付体験の環境整備 内容: 着物着付体験にて使用する銘仙着物、ポリエステル着物、浴衣、下駄などの備品を購入し、環境整備を行った。</p> <p>②着物・甲冑着付体験 内容: 年間を通して、料金割引や特典付きのキャンペーンを実施した。 ア) 足利灯り物語とのコラボ企画 令和3年4月29日～5月5日、令和4年11月13日～11月21日 春と秋に開催している同イベント時に着物で夜まで楽しめる企画を実施 体験者: 春 23人、秋 46人 イ) 袴キャンペーン 令和3年10月1日～令和4年3月31日 新型コロナウイルス感染症の影響により、卒業の思い出を作れなかった学生向けにキャンペーンを実施(現在実施中) 体験者数: 57人</p> <p>③銘仙の展示 内容: まちなか遊学館内に写真スポットを作り、足利銘仙を展示した。</p> <p>④広告宣伝用の写真撮影 内容: 対外的なPRのための写真撮影をした。秋冬用は次年度撮影予定。</p> <p>【令和4(2022)年度以降】 前年度同様に着付体験環境の整備や着付体験の実施</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(R7年度目標値)</p> <p>【KPI】R2:300万人 → R7:550万人</p> <p>【KPI達成状況】H28:411万人、H29:475万人、H30:507万人、R1:486万人、R2:300万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	3年度	4年度	5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①着物着付体験の環境整備(着物購入) ②着物・甲冑着付体験 ③館内に着物展示 ④広告宣伝用の写真撮影	①着物着付体験の環境整備 ②着物・甲冑着付体験 ③着物展示	①着物着付体験の環境整備 ②着物・甲冑着付体験 ③着物展示		①着物着付体験の環境整備 ②着物・甲冑着付体験 ③着物展示
事業費	383,012	360,000	360,000	1,103,012	180,000
市町支出金(ソフト事業分)	360,000	360,000	360,000	1,080,000	180,000
うち県交付金	180,000	180,000	180,000	540,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	23,012	0	0	23,012	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課
担当者名	武井 実里
電話	0284-20-2165
FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	着物によるまち歩き推進事業	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
支出金	360,000	
(一社)足利市観光協会支出金	23,012	
計	383,012	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	274,407	251,400	125,700	23,007	銘仙着物、小物等購入
修繕料	0	0	0	0	
広告宣伝費	108,605	108,600	54,300	5	広告用写真撮影(春夏用)
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	383,012	360,000	180,000	23,012	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査書)
【単独事業】

確定版

市町名	足利市
事業名	足利灯り物語創出事業
事業主体の名称	足利灯りのある街づくり実行委員会
代表者の名称	委員長 早川 慶治郎
事業主体の所在	〒326-0053 足利市伊勢町三丁目6-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 足利市内における観光事業の振興を図り、産業・文化の発展に寄与することを目的とする。 ・設立年月日: 平成29年1月24日 ・構成員等: 観光及び商工振興関係団体
当該事業に係る地域の現状と課題	足利市内には鑿阿寺・史跡足利学校・足利織姫神社などの魅力的な観光資源があるものの、首都圏からも近くアクセスしやすいため、日帰りの観光客が多く、宿泊や飲食が伴っていないのが現状である。市内には、「あしかがフラワーパーク」のイルミネーションや足利織姫神社の夜景など夜景観光資源も多く、さらに中心市街地にある既存の歴史的文化財をライトアップし活用することによる既存の夜景観光資源との連携強化及び滞在型観光や近隣市町村からの交流人口増加が課題である。
事業目的	足利市が誇る歴史遺産や町並みを活用し、日中とは趣の異なる幻想的な空間に磨き上げることで、市民及び観光客が四季折々に楽しめる夜景商品を開発する。夜景観光のまちとしてのイメージを定着させることで、新たな誘客につなげるとともに、滞在時間延伸に伴う宿泊や飲食等の消費行動を喚起し、市内経済の活性化を図る。特に、県内・両毛地域・北関東など近隣へのPRを重点的にを行い、定期的に足利市に訪れる人々の流れを創出する。県内大学と連携し学生による夜景演出の機会を提供するなど、地域づくり参画への機会を創出する。
事業概要	<p>【令和3年度】</p> <p>足利灯りのある街づくりプロジェクトとして、灯りのイベントを集約し、灯りと足利市の地域資源である文化財や街並みを楽しめる、足利ならではのイベントを企画し実施した。</p> <p>(1) 四季を通じた夜景観光の創出</p> <p>① 春(足利灯り物語)</p> <p>日時: 令和3(2021)年4月29日(木・祝)～5月5日(水・祝)</p> <p>場所: 鑿阿寺、史跡足利学校、足利織姫神社</p> <p>【内容】鑿阿寺の本堂や大銀杏、史跡足利学校の大成殿や北庭園、竹林などをライトアップしたほか、参道や足利織姫神社の階段に銘仙行灯を設置した。</p> <p>② 秋(足利灯り物語2021秋)</p> <p>日時: 令和3(2021)年11月13日(土)～11月21日(日)</p> <p>場所: 鑿阿寺、史跡足利学校、足利織姫神社、伊勢神社</p> <p>【内容】鑿阿寺の本堂や大銀杏、山門の仁王像、史跡足利学校の大成殿や北庭園などをライトアップするとともに、花手水を設置したほか、参道や足利織姫神社の階段に銘仙行灯を設置した。新たに、伊勢神社にも設置し、令和3年度より灯りの範囲を広げた。そして、授業や大学活動の一環として足利の歴史や文化等を調査研究して作成した「切り絵アニメーション(片葉のあし)」(文芸芸術大学に作成依頼)を鑿阿寺境内で上映した。</p> <p>さらに、鑿阿寺、史跡足利学校周辺いしだみ通りの店舗と連携し、史跡足利学校有料参観者へ商店で使用できる商品券を配布することで、まちなかへの回遊を促進した。</p> <p>(3) 夜景観光団体等との連携</p> <p>日本百名月へ参画し、夜景観光に取り組む都市等との交流を通じ、先進的な事例等を習得した。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(R7年度目標値)</p> <p>【KPI】R2:300万人 → R7:550万人</p> <p>【KPI達成状況】H28:411万人、H29:475万人、H30:507万人、R1:486万人、R2:300万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	3年度	4年度	5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	足利灯りのある街づくりイベント実施 (1) 四季を通じた夜景観光の創出 春・秋(足利灯り物語) (2) 夜型イベントとの連携 (3) 夜景観光団体等との連携	足利灯りのある街づくりイベント実施 (1) 四季を通じた夜景観光の創出 ① 春・秋(足利灯り物語) ② 夏(足利夏まつり) ③ 冬(足利冬物語) (2) 夜型イベントとの連携 (3) 夜景観光団体等との連携	足利灯りのある街づくりイベント実施 (1) 四季を通じた夜景観光の創出 ① 春・秋(足利灯り物語) ② 夏(足利夏まつり) ③ 冬(足利冬物語) (2) 夜型イベントとの連携 (3) 夜景観光団体等との連携		足利灯りのある街づくりイベント実施 (1) 四季を通じた夜景観光の創出 ① 春・秋(足利灯り物語) ② 夏(足利夏まつり) ③ 冬(足利冬物語) (2) 夜型イベントとの連携 (3) 夜景観光団体等との連携
事業費	5,115,534	4,650,000	4,650,000	14,415,534	4,650,000
市町支出金(ソフト事業分)	4,650,000	4,650,000	4,650,000	13,950,000	4,650,000
うち県交付金	1,500,000	1,500,000	0	3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	465,534	0	0	465,534	0

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	小暮 勇気
電話	0284-20-2165
FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	足利灯り物語創出事業	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	4,650,000	
雑収入	465,534	ライトアップ商品券未利用分収入、預金利息
計	5,115,534	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	53,000	43,000	10,000	10,000	謝礼(宣材写真撮影時足利織姫親善大使派遣、着物で夜さんぽ臨時対応時アシスタント、アンケート集計)
旅費	0	0	0	0	
需用費 (消耗品費)	116,230	116,000	20,000	230	非接触型一体型検温測定・消毒器(スタンドセット)、LEDスタンド、プロジェクタースクリーン、メディアプレーヤー、SDカード、ゴムマット、コードリール、絶縁テープ購入など
需用費 (印刷製本費)	517,880	517,000	250,000	880	ポスター・チラシ・ライトアップ商品券等印刷
役務費 (通信運搬費)	4,786	4,786	0	0	ポスター・契約書・実行委員会通知等郵送料
役務費 (広告料)	254,980	254,000	0	980	広告掲載費(とちぎテレビ、毎日新聞、関東バスデジタルサインージ)
役務費 (手数料)	30,000	30,000	0	0	借上着物補修手間代
役務費 (保険料)	30,000	30,000	0	0	イベント参加者障害保険料
委託料	3,783,599	3,655,214	1,220,000	128,385	ライトアップ設置委託、電気配線等設置委託、切り絵アニメーション制作委託、チラシ新聞折込委託、宣材写真撮影業務委託、ホームページ作成委託など
使用料又は賃借料	0	0	0	0	
負担金及び交付金	110,880	0	0	110,880	日本百名月2021年度参画会費
次年度繰越金	214,179			214,179	
計	5,115,534	4,650,000	1,500,000	465,534	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

確定版

市町名	足利市
事業名	あしかが「美」食まつり
事業主体の名称	あしかが「美」食まつり実行委員会
代表者の名称	実行委員長 早川 慶治郎
事業主体の所在	〒326-0053 足利市伊勢町3丁目6-4
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 足利市の農産物ブランドである「あしかが美人[®]」を使った新たな食のブランド化を図り、市民及び観光客が「あしかが美人[®]」の魅力を知る機会を創出することで、地産地消の推進と観光誘客の促進を図り、地域活性化につなげる。</p> <p>・設立年月日: 平成29(2017)年9月1日</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・足利市は、「史跡 足利学校」や「国宝 鍬阿寺」をはじめ、歴史的な観光資源が中心市街地に集中しており、そうした中心市街地に多くの観光客が訪れる一方で、足利市全体の地域活性化及びにぎわい創出のために観光客を中心市街地から市内全域へ周遊させる仕掛けが機能していない現状である。</p> <p>・「観光振興」とご当地での「食」が密接に関わる中、観光資源としての「あしかが美人[®]」のPR強化が課題であり、「あしかが美人[®]」と地域との結びつき、観光客への周知を推進する仕組みづくりをする必要がある。</p> <p>・足利市を訪れる観光客の多くは日帰り客中心であり、観光消費額より大きい宿泊客誘致及び消費機会の創出に向けた取組が課題である。</p>
事業目的	<p>・市民及び観光客に対して、農産物ブランド「あしかが美人[®]」(トマト、いちご、アスパラガス、にんじん、きゅうり、ナス、大根)を食材として使用したメニューを市内店舗や宿泊施設等で提供することで、当市の地産地消推進と観光誘客及び市内回遊の促進を図るとともに、地域活性化につなげる。</p> <p>・昨年に引き続き、「あしかが美人」を使用したメニューを提供することで、市民や観光客に対して、本市ならではの食のブランドとしてメニューの定着を図ること。</p>
事業概要	<p>【令和3(2021)年度】</p> <p>【事業概要】</p> <p>① 参加店舗募集について 令和3(2021)年9月から同10月にかけて一般社団法人足利市観光協会、足利商工会議所並びに足利坂西商工会の会員に対して参加店舗を募集。27店舗(メニュー数31品)の申込みがあった。 →各参加店にて特別メニューを考案した。</p> <p>② 広報について ・チラシ、ポスター、のぼり旗、ホームページにて広報 パンフレット等頒布物 27店舗の広報用パンフレット、のぼり旗及びポスターを作成した。 パンフレット A2両面カラー版(A4仕上げ) 50,000部 のぼり旗 10枚(ポールなし) ポスター A2片面カラー版 200枚 →「あしかが美人[®]」生産者や参加店へのインタビュー記事など、ストーリー性を持つ広告宣伝を実施した。</p> <p>③ あしかが「美」食まつり開催 スタンプラリーを実施した。(食材スタンプ3種類を集め応募。抽選で賞品を贈呈。) インスタグラムによるフォトキャンペーンを実施した。(美食まつり提供商品の写真を撮影し、ハッシュタグを用いて応募。抽選で賞品を贈呈。) →期間限定で特別メニューの提供開始。期間中も各種媒体にて広報を実施。 ・スタンプラリーを実施することで、お客様が一店舗の訪問で終わらず、市内を回遊する流れを創出 ⇒中心市街地のみならず、市民及び観光客による市内全域でのにぎわいを創出</p> <p>【令和4(2022)年度以降】 継続的な実施により、催事規模を拡大する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(R7年度目標値)</p> <p>【KPI】R2:300万人 → R7:550万人</p> <p>【KPI達成状況】H28:411万人、H29:475万人、H30:507万人、R1:486万人、R2:300万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	3年度	4年度	5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①あしかが「美」食まつりの参加店募集 ②あしかが「美」食まつりの広告宣伝 ③あしかが「美」食まつりの実施	①あしかが「美」食まつりの参加店募集 ②あしかが「美」食まつりの広告宣伝 ③あしかが「美」食まつりの実施	①あしかが「美」食まつりの参加店募集 ②あしかが「美」食まつりの広告宣伝 ③あしかが「美」食まつりの実施		①あしかが「美」食まつりの参加店募集 ②あしかが「美」食まつりの広告宣伝 ③あしかが「美」食まつりの実施
事業費	1,358,586	1,550,000	1,550,000	4,458,586	1,150,000
市町支出金 (ソフト事業分)	800,000	800,000	800,000	2,400,000	400,000
うち県交付金	400,000	400,000	400,000	1,200,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	558,586	750,000	750,000	2,058,586	750,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	小野 麻衣
電話	0284-20-2165
連絡先 FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	あしかが「美」食まつり	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	800,000	
足利商工会議所負担金	50,000	
足利市農業協同組合	200,000	
坂西商工会	20,000	
協賛金	143,000	
繰越金	145,584	
雑収入	2	
計	1,358,586	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	県交付金		
印刷製本費	734,910	734,910	367,455	0	パンフレット 50,000部、ポスター 200部、のぼり旗 10枚
委託料	358,125			358,125	ホームページ作成費 メニュー及び店舗写真撮影
通信運搬費	82,330	65,090	32,545		出展者募集通知、パンフレット発送
事務費	0			0	
広告宣伝費	30,450			30,450	スタンプラリー・インスタグラム キャンペーン賞品、同発送
次年度繰越金	152,771			152,771	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,358,586	800,000	400,000	541,346	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合